

3年連続で6羽を超える生息を確認！



No. 41 メッシュで確認されたクマゲラ雌 2018. 3. 11 田守 真一さん撮影

「野幌森林公園クマゲラー斉調査2018」に参加いただき、誠にありがとうございました。ここに厚く御礼申し上げます。

さて、この度の調査も一昨年昨年と同様に、クマゲラの確認羽数が6羽以上と好結果であったことに大変嬉しく思います。

私たちは、引き続きクマゲラ調査をはじめ、野幌の豊かな森を守るための活動を続けたいと考えておりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

野幌森林公園 クマゲラー斉調査2018 結果報告

■調査年月日 2018年 3月 11日 (日)
 ■調査時間 11:00~12:00 (原則)

■調査内容 一斉調査法 / 500mメッシュ (区画) による確認調査 / 目視・鳴き声による個体確認、確認場所・状況の記録など

■調査人員 49人 (個人団体含む)



島崎康広さん撮影

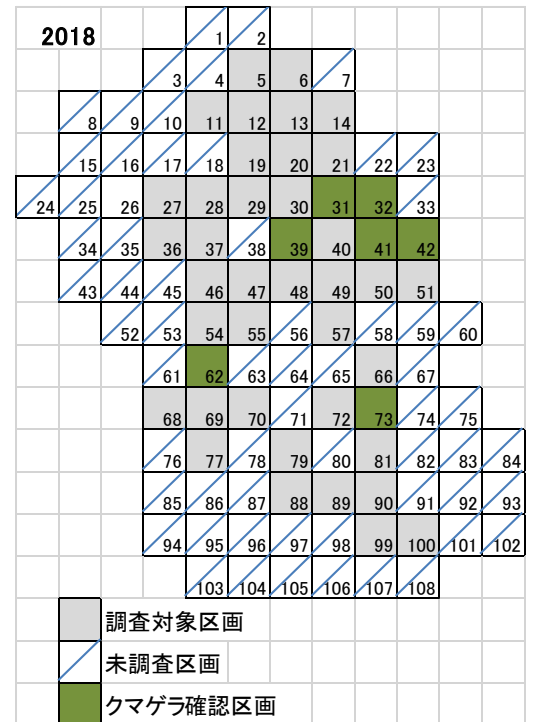
■調査結果

クマゲラが確認されたエリアは、志文別線周辺 (3区画)、モミジコース周辺 (1区画)、原の池周辺 (1区画)、瑞穂口周辺 (1区画)、登満別線 (1区画) の合計7区画でした。これらのうち、今調査では北東部となる志文別線周辺においてはオス・メスがそれぞれ3羽の計6羽が集中して出現しており、特徴的な分布傾向が示されました。

確認羽数は、目撃や鳴き声、時間等の確認情報をもとに個体の重複分等を除いて推測すると6~8羽となり、一昨年6~7羽、昨年の6羽を上回る3年連続の好結果となりました。

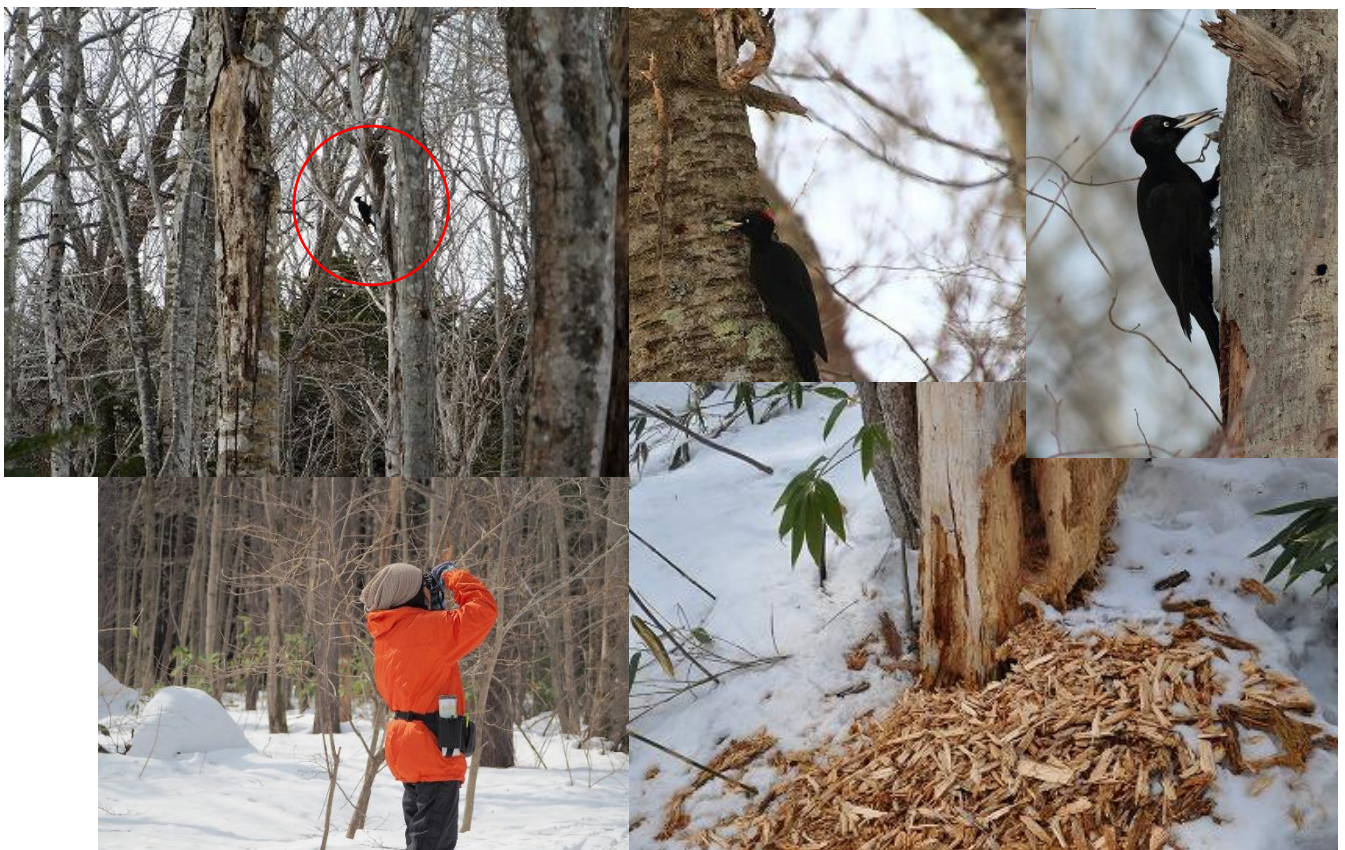
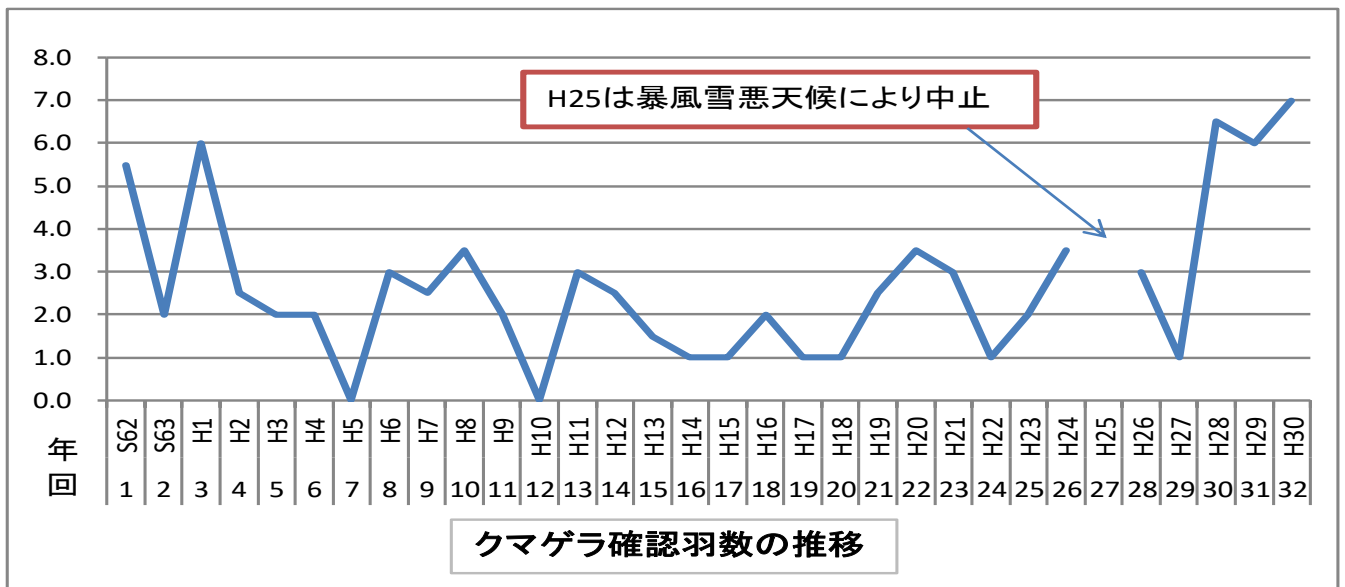
今調査では対象区が例年より少ないうえ、南側の未調査のエリアも多かったことを考慮すると、全森林内の確認羽数は増えていた可能性も考えられます。

なお、注目できる北東部の集中分布の理由についてはよく分かりませんが、クマゲラはこの頃から求愛行動とともにつがい形成が始まります。まだテリトリー (なわばり) が明確でないこの時期ですが、林内の個体が寄り集まっていたことは事実であったといえます。



エリア	メッシュ (区画)	確認時間					雌雄	目撃	鳴き声	確認結果	確認状況など
		10:30	11:00	11:30	12:00	12:30					
志文別線周辺	31	11:40~11:45				■	♂	○	○	1	採餌する個体を確認
	32	11:10~11:30			■		♀	○	○	1	採餌する個体を確認
		10:40~11:45		■	■	■	♀	○	○	1	採餌する個体を確認、飛来の♂と移動
		11:45				■	♂	○	○	1	♀に近づき、すぐに♀と同時移動
		11:47				■	不明	—	○	(1)	鳴き声確認
	41	11:01~11:03			■		♂♀	○	—	2	確認後すぐに2羽で同時移動
11:52~12:05					■	不明	—	○	(1)	鳴き声確認	
モミジコース周辺	39	11:35~12:00			■	♀	○	○	1	採餌する個体を確認	
原の池周辺	42	11:00~11:30			■	不明	—	○	(1)	鳴き声確認	
瑞穂口周辺	62	11:15~11:25			■	♂	○	—	1	採餌する個体を確認 (ドラミングあり)	
登満別線	73	11:30			■	不明	—	○	(1)	鳴き声確認	

※確認時間の赤は目撃、青は鳴き声、()は重複または重複可能個体



安立尚雅さん、大熊弘一さん、石川徹さん、上野美奈子さん、菅原文雄さん撮影

●調査の写真などありがとうございました！

クマゲラ一斉調査では、確認したクマゲラの写真は最も重要ですが、「そこにいる」という証拠となる餌を採るために掘った穴やフンなどの写真も貴重な情報源です。今回は、クマゲラに出会えた方々が比較的多かったこともあって参加の皆さま方からの写真のご提供が多数ありました。ここにあらためてお礼を申し上げます。

なお、これらの写真は今後報告書や関係のホームページなどで利用させていただきたくもありますのでご承諾いただければ幸いです。まだお手元にある観察時の写真などがございましたら、お手数でも事務局までお送りいただけましたら嬉しい限りです。よろしくお願いいたします。

■調査を終えて

春の日差しをあびての恵まれた天候の中、事故もなく無事に終わられたこと、そして何より3年連続で6羽以上のクマゲラが確認できたことは大変喜ばしく思います。これも皆様方調査員のクマゲラ調査への思い、熱意、そして視線の賜であったものと感謝いたします。

大都市札幌の近郊に逞しく生きるクマゲラを、私たちはこれからも守っていかねばと思います。まずは現状維持の生息があってほしいと願っています。とりわけクマゲラについてはまだ分からないことだらけですが、可能な限り野幌森林公園におけるクマゲラ保護を中心とした生物多様性保全活動の充実を目指したいと考えています。

この度、念願であった「ほく一基金北海道生物多様性保全助成制度」を受けられることになりました。野幌森林公園を守る会は今年で35周年を迎えますが、ここで記念誌発行をはじめ、写真展やミニ講演会の企画のほか、過年度調査および生息動向調査のデータ解析より野幌森林公園における生息環境の把握にも努めます。これらの活動については、共催であった北海道博物館や野鳥お勉強会のホームページ、および関連の案内紙上で案内の予定ですのでそれらをご覧ください。皆さまのさらなるご支援ご協力をお願いいたします。



●アンケートのお願い

クマゲラ一斉調査に参加された皆さまからのご感想、ご意見、ご要望をいただき、今後の調査の進め方などに反映させたいと思っています。つきましては、次のアンケートにお答えいただきたくお願いいたします。

A 今回の調査をどのようにしてお知りになりましたか。

1. 博物館のホームページ、
2. 他のホームページ ()、
3. 新聞記事 ()、
4. 友人・知人から聞いた
5. その他 ()

B 運営の面などで至らぬ点があったと思います。ご意見などをお聞かせください。

()

【送付先】 電子メール : kumagera2018@gmail.com (野幌森林公園を守る会・特設アドレス)

郵送 : 事務局 〒069-0835 江別市文京台南町 47-31 富川方

●来年2019年は、3月10日(日)に実施します。ご参加をお待ちしています。

野幌森林公園 クマゲラ一斉調査 2018

主催 : 野幌森林公園を守る会

共催 : 北海道博物館 / 野鳥お勉強会

協力 : 北海道野鳥愛護会

野幌森林公園を守る会 事務局

〒069-0835 江別市文京台南町 47-31 富川方

Eメール : kumagera2018@gmail.com

電話 : 090-4874-1705 (富川)